

台風第6号の接近に伴う 山中 竹春 横浜市長メッセージ

横浜地方気象台の発表によると、台風第6号の接近に伴い、3日(水)未明から市内で大雨や土砂災害が予想されています。

市民の皆様におかれましては、不要不急の外出を控えていただくとともに、5月29日から運用の始まった新たな防災気象情報などを参考に、浸水や川の氾濫、土砂災害の恐れがある危険な場所へは近づかないなど、災害への備えをお願いいたします。気象庁や本市などの公共機関からの正確な情報を基に行動してください。

本市では、本日17時に「横浜市災害対策警戒本部」を設置し、全市的な警戒体制を確立し、風水害への対応を強化しています。大雨のピークが深夜から明朝となる予想のため、本日中に各区に避難場所を開設するよう準備していますので、「横浜市ホームページ」や「横浜市防災情報ポータル」をご確認いただくとともに、本市が公表しているハザードマップを事前に御確認のうえ、適切な避難行動に努めていただくようお願いいたします。また、これらに合わせ、「横浜市防災・危機管理 X」等のSNSを活用して、適時適切な情報提供に努めてまいります。

市民の皆様の安全確保のため、引き続き万全の対策を講じてまいります。

お問合せ先

防災・危機管理統括本部緊急対策課長 千葉 Tel 045 - 671 - 2170